

平成〇〇年 4 月分

居宅介護サービス提供実績記録票

氏名 厚生 太郎 事業所番号 1111111111

(厚生 花子)

通院等乗降介助 10回/月

事業者及びその事業所

1時間を二人派遣で提供した場合、各利用日に係る欄の算定時間数は1時間とし、下の合計欄においては2時間を記載する。(1時間×2人=2時間)

■旧様式からの変更点

- ・様式変更なし
- ・「初回加算」、「緊急時対応加算」を算定した日については、備考欄に「初回加算」、「緊急時対応加算」と記載する。

日付	日	内容	サービス提供時間		算定時間数		乗降	派遣人数	サービス担当者確認印	備考
			開始時間	終了時間	時間	乗降				
1	1	身体	10:00	11:30	1.5			1		
2	2	通院(伴う)	10:00	11:00	1			2		
3	5	家事	15:00	16:30	1.5					
4	5	家事(3級)				15:00	16:30	1.5		
5	13	乗降	18:00	18:30	1			1		
6	15	① 身体	13:00	16:00	3			1		
7	15	② 身体	14:00	15:00	1			1		
8	16	① 身体	13:00	15:00	2			1		
9	16	② 身体(3級)	14:00	16:00	2			1		
10	30	身体(重訪)	22:00	23:00	1			1		
15	3	通院(伴う)	10:00	11:30	1			1		運転中10:15~10:45を除く
19	10	身体	8:00	11:00	1.5			1		空き時間8:45から10:00/10:45から11:00

当初の計画と実績においてヘルパーの資格が変更(例:2級→3級)した場合、2行に分けて記載する。 ※報酬の算定は3級の単価により算定する。(例:計画時3級→実績時2級変更の場合も報酬の算定は3級の単価により算定する。)

乗降の場合は回数を記載する。

二人派遣で時間がずれた場合、2行に分けて記載する。 一行目は全体の通算時間を記載する。 二行目はヘルパーが重複している時間帯を記載する。派遣人数は行ごとに1と記載する。

二人派遣の時間帯がある場合で、1人目と2人目の従事者要件(3級ヘルパーや重度訪問研修修了者)が異なる場合は、それぞれ行を分けて記載する。

減算対象となる従業者によりサービス提供した場合は、当該従業者の資格(3級)(重訪)を併記する。

事例は、通院等乗降介助を行い、かつ、通院等乗降介助の前後に連続して20~30分程度以上の身体介護を行うことにより通院介助(身体介護を伴う)を算定する場合の記載例。全体の通算時間は10:00~11:30であるが、10:15~10:45はヘルパーが運転中の例。算定時間数については、ヘルパーの運転時間0.5時間を除いた時間数を記載する。

(注)3日、10日の利用分については、本資料作成都合上、暦の順序から分けて記載しています。

2時間以上サービス間隔があかなかつた場合、1行にサービス時間全体を通しての開始時間及び終了時間を記載し、備考欄に空き時間を記載する。 算定時間数は、通算時間の3時間-空き時間の1.5時間=1.5時間

当該サービス提供月において、居宅介護計画に記載したサービス提供予定日、その曜日を記載する。 また、ヘルパーを2人派遣する場合はヘルパーごとに番号(丸囲み)を記載する。(様式2及び様式3-1についても同様。)

算定時間数の内訳を集計する

ヘルパーの資格により適用される単価ごとに算定時間を記載する。

計画時間数計	内訳(適用単価別)				算定時間数計
	100%	90%	70%	重訪	
居宅における身体介護	9		2	1	12
通院介護(身体介護を伴う)	2				2
家事援助		1.5			1.5
通院介護(身体介護を伴わない)					
通院等乗降介助	1	1			1
合計	12	1.5	2	1	15.5